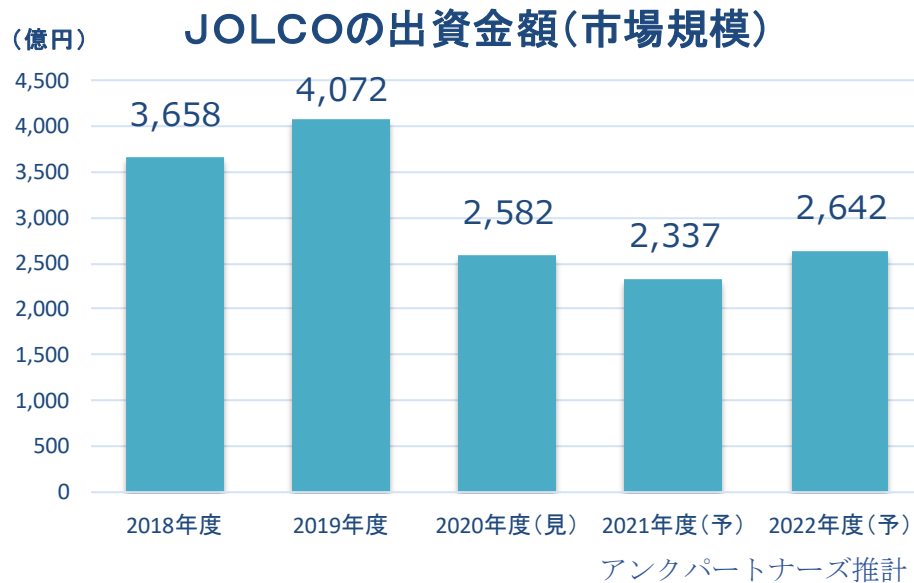


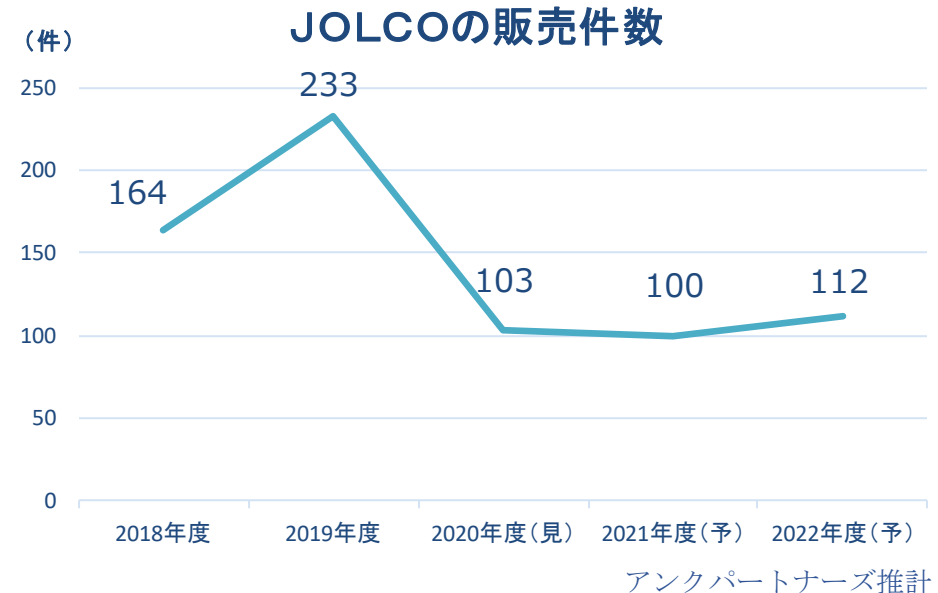
2021年 JOLCOマーケットの動向調査

2020年度の市場規模は2,582億円（出資金額）、103件（販売件数）と推計
市場規模は縮小したが、一定規模の投資家ニーズがあると改めて確認

- 2020年度は2,582億円（前年度比36.6%減）、103件（同55.8%減）と推計。新型コロナウイルスの世界的蔓延を背景に、航空機分野の大幅減少が影響
- 一部海運などの物流業界は回復の兆しを見せるも、従前からの市場環境の低迷により組成案件が少なく、投資家ニーズを満たせず市場規模の底上げに至らず
- 2021年度以降は、横ばい傾向が続くと予測



※出資金販売額で集計
※2020年度は2020年4月～2021年3月の間に迎えた決算期の数値で集計

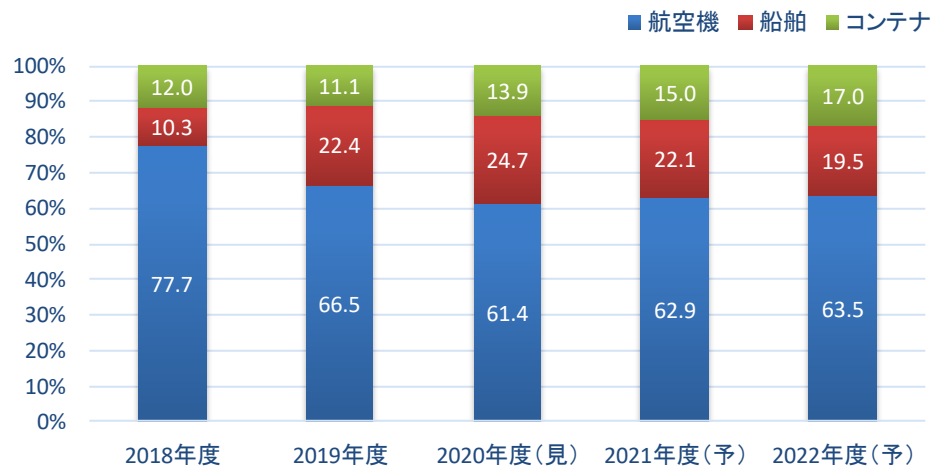


※組成案件の販売件数で集計
※2020年度は2020年4月～2021年3月の間に迎えた決算期の数値で集計

航空機分野のシェアは78%から60%前半に縮小、船舶分野は20%台に拡大

- 2018年度に77.7%のシェアを占めていた航空機は、2019年度に船舶のシェアが拡大したことで66.5%に縮小
- 2020年度はコロナ禍により航空機のシェアが61.4%に低下。各分野の構成比にも変化

分野別構成比の推移

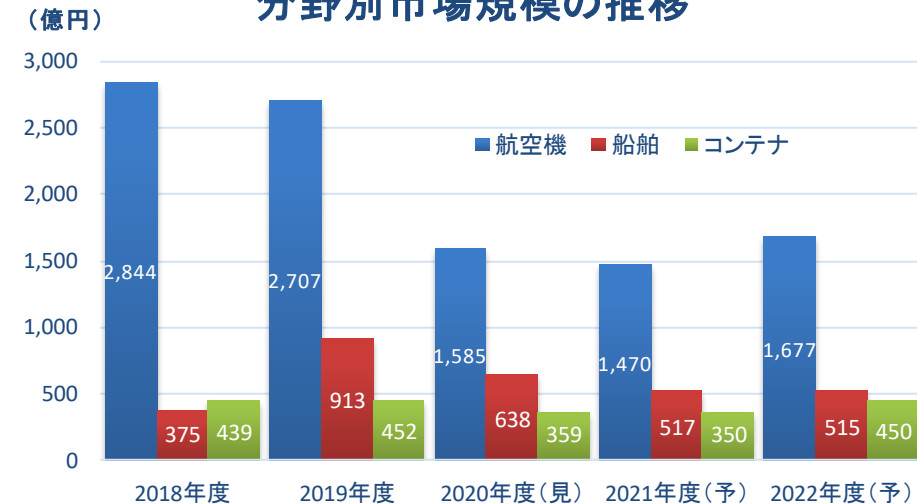


※出資金販売額をベースに集計

アークパートナーズ推計

※2020年度は2020年4月～2021年3月の間に迎えた決算期の数値で集計

分野別市場規模の推移



※出資金販売額で集計

アークパートナーズ推計

※2020年度は2020年4月～2021年3月の間に迎えた決算期の数値で集計

リサーチ要綱

○対象：JOJCOを扱うリース会社、専業会社など約10社 ○期間：2021年3月 ○方法：専門研究員による対面取材、オンライン取材

※JOJCOとは、一般的に航空機、船舶、コンテナ等を対象とした日本型オペレーティングリース（JOL）のうち購入選択権（Call Option）が航空会社などの賃借人に付与されたもので、匿名組合が金融機関からの借入金と複数の投資家（中小企業など）からの出資金で資金調達して航空機などを購入しリースするもの。投資家には、出資から生じる計画納税が可能となる延税効果のある金融商品である。

※本JOJCOマーケット調査は、可能な限りJOLの出資金を除いて集計したが、一部含まれるものもある。

■本マーケットニュースは、市場規模や動向の情報発信が目的であり、投資や出資その他の行動、特定商品や金融商品等への勧誘や推奨をするものではありません■

●アークパートナーズ合同会社●
 本マーケットニュースにおける著作権、その他一切の権利は、アークパートナーズ合同会社に帰属します。本マーケットニュースの複製及び記事の無断転載を固く禁じます。転載引用の際には弊社ホームページにてお問い合わせ下さい。